

は ば た き 賞 表 彰 実 施 要 綱

第 1 趣旨

本県における児童生徒の、他の模範となるさわやかな行為や活動を表彰し、もって、児童生徒の社会的行動や道徳的な態度、実践力の向上などの学校教育の一層の充実に資する。

第 2 表彰対象

岩手県内に所在する国公立及び私立学校に在学する児童生徒及び児童生徒で構成する団体とする。

第 3 表彰基準

表彰は、次の各号の区分に応じ、当該各号に掲げるものの一に該当するものについて行う。

1 善行表彰

ア 人命救助等他の模範となる勇気ある行為を行ったもの

イ 福祉・介護、ボランティア、環境、国際交流、文化財保護、文化・スポーツ振興等をはじめ、広く地域・社会に寄与する児童生徒の自主的・自発的な実践活動であり、その活動が社会的に善いことと認められ、相当の評価を受けているもの

2 奨励表彰

ア クラブ活動、部活動等の対外活動、各種コンクール等において顕著な成果をあげたもの ただし、県民栄誉賞及び岩手県スポーツ賞表彰の対象に該当するものはのぞく

イ 児童会、生徒会活動等で校風を高める等他の模範となる活動を行ったもの

3 努力表彰

ア 地道な努力を継続して実践し、他の模範となる活動を行ったもの

イ 障がいのある児童生徒で、その障がいの克服のために努力し、他の模範となるものの

第 4 表彰の方法

表彰は、岩手県教育委員会教育長が表彰状を授与する。ただし、記念品を併せて授与することができる。

第 5 表彰は原則として年 2 回行う。

付則

この要綱は、昭和 63 年 7 月 23 日から施行する。

この要綱は、平成 20 年 9 月 3 日から改正施行する。

この要綱は、平成 21 年 7 月 1 日から改正施行する。

この要綱は、平成 22 年 1 月 15 日から改正施行する。

この要綱は、平成 24 年 6 月 22 日から改正施行する。

この要綱は、平成 28 年 6 月 10 日から改正施行する。

はばたき賞表彰実施要領

1 表彰候補者の推薦

- (1) 県立学校及び国立大学附属学校の児童生徒については、該当校の校長がはばたき賞表彰候補推薦書（様式1）により、教育長に表彰候補者又は表彰候補団体（以下「表彰候補者等」という）を推薦する。
- (2) 市町村立学校の児童生徒については、当該校長が作成するはばたき賞表彰候補推薦書（様式2）に基づき、市町村教育委員会教育長がはばたき賞表彰候補推薦書（様式3）により、教育長に表彰候補者等を推薦する。
- (3) 私立学校の児童生徒については、当該校長がはばたき賞表彰候補推薦書（様式4）に基づき、岩手県総務部を経由して岩手県教育委員会教育長に表彰候補者等を推薦する。
- (4) 推薦は、随時行うものとする。

2 表彰候補者等の推薦基準の参考例

はばたき賞表彰実施要綱の3表彰基準の各号に該当する参考例示は次のとおりである。

表彰基準	参 考 ・ 例 示
1	<ul style="list-style-type: none"> 人命救助に係る行為であるもの 福祉・介護、ボランティア、環境、国際交流、文化財保護、文化・スポーツ振興等をはじめ、広く地域・社会等に寄与する児童生徒の自主的・自発的な実践活動であり、その活動が社会的に善いことと認められ、相当の評価を受けているもの
2	<ul style="list-style-type: none"> 全国レベルの対外活動に参加し、その成果について公的に相当の評価を受けたもの 母校愛や校風、士気を高め、地域住民等に相当の評価を受けたもの
3	<ul style="list-style-type: none"> 精一杯の努力により、さわやかな印象を多くの人々に与え、その共感を集めたもの 障がい克服しながら、生きる尊さの模範を示しているもの

3 被表彰候補者等の決定

教育長は、推薦された候補者の中から、はばたき賞表彰審査会の議決を経て、被表彰候補者又は被表彰団体（以下「被表彰者等」という）を決定する。

4 審査会の設置、所掌事項及び構成

- (1) 県教育委員会事務局にはばたき賞表彰審査会（以下「審査会」という）を設置する。
- (2) 審査会は、表彰候補者等について被表彰候補者等として適当であるか否かを審査する。
- (3) 審査会の構成は、次のとおりとする。

ア 委員長	教育次長兼学校教育室長
イ 副委員長	学校教育室生徒指導課長
ウ 委員	学校教育室学校企画課長
	教職員課総括課長
	教職員課小中学校人事課長
	教職員課県立学校人事課長
	生涯学習文化課総括課長
	スポーツ健康課総括課長
	法務学事課私学・情報公開課長

**教育委員会組織改編に伴い、
所要のの変更を行う予定**

とする。

- ア 委員長は、審査会を主催する。
- イ 委員長に事故あるときは、副委員長が職務を代理する。
- ウ 委員長は、必要に応じ、審査会に出席する委員を調整することができる。

5 庶務

表彰に関する庶務は、学校教育室において処理する。

はばたき賞表彰候補者の推薦上の観点

1 善行表彰

- (1) 人命の危機や困難、苦境に立っている者に、手を差し伸べ救う、温かく援助する等の活動を行い、そのことが高く評価されているもの。
- (2) 福祉・介護、ボランティア、環境、国際交流、文化財保護、文化・スポーツ振興等をはじめ、広く地域・社会等に寄与する児童生徒の自主的・自発的な実践活動であり、その活動が継続して行われて、社会的に善いことと認められ、相当の評価を得ているもの。
※ 相当の評価とは、当該年度に国レベルの表彰を受けていること。
- (3) 老人や助けを必要としている人たちに対して、児童生徒の自主的・自発的な実践活動で、かつ社会的に高く評価される活動であると判断されるもの。
- (4) その他、行為または活動が善行表彰に値すると判断されたもの。

2 奨励表彰

- (1) 文化活動、スポーツ活動等の実績が全国レベルであると評価されたもの。
※ 全国レベルの対外活動で優勝等の成果をあげたものとするが、インターハイ、国体、選抜大会、全国中学校体育大会、全国高校総合文化祭、全日本合唱コンクールなどの主要大会においては2位までを考慮する。
※ 全国大会への参加までには、1回以上の予選または標準記録など1段階以上の選抜があることを原則とする。
※ コンクール等については、文部科学省（文化庁）が主催又は後援しているものであることを原則とする。
- (2) 児童会、生徒会等が中心となり、校風の刷新または地域の伝統や文化の発展・維持・向上に努力し、そのことが高く評価されているもの。
- (3) その他、行為または活動が、奨励表彰に値すると判断されるもの。

3 努力表彰

- (1) 地理的にも恵まれない環境をものともせず、学校活動を意欲的に続け、そのことが他の生徒に感銘と刺激を与えるものであり、そのことが高く評価されているもの。
- (2) 厳しい家庭環境の中で、自らも一家の重要な役割を担いながら力強く生きていることが、地域や他の生徒に感銘を与えるものであり、そのことが高く評価されているもの。
- (3) 障がいや難病の克服に果敢に挑戦しながら、一日一日を精一杯明るく生活し、そのことが周囲に感動を与えるとともに、人間のあり方、生き方にとってよい刺激になっており、そのことが高く評価されているもの。
- (4) 同様の活動による表彰は原則として一回とする。